

第12回 広域ごみ・汚泥処理施設候補地選定委員会まとめ

《開催日》 平成20年5月30日(金)午後3時00分～午後6時00分
《場所》 豊岡市立図書館 2階 視聴覚室
《出席者》 委員：寺嶋均、森住明弘、八村智明、吉田勲、定元之雄、狩野昇、
日下部昌男、山田政五郎、中村聖司、中田雄久、荒井泰史
久保田八千代、足田仁司 (敬称略)
組合：事務局長他 6名 合計20名

関係市町 松井課長、坂本課長

《内容》 ... 委員会次第

1 開会

2 報告

(1) 第11回委員会(4月23日)後の地元対応等について

質 疑

- Q . 候補地発表後の地元の反応や意見はどうであったか。
A . 委員会発表前と地元の意見は変わらない。
- Q . 区長協議会には、隣接区長の出席はあったか。
A . 出席していた。欠席された区長には資料を送付した。
- Q . 林区長は出席されていたか。
A . 出席されていた。
- Q . アセスについての今後の予定と取り組み方はどうなのか。検討委員会を設置するのか。
A . 口頭では言っている。検討委員会については、森本・坊岡区に投げかけている。
- Q . 地元の方々の理解はスムーズに得られているのか。また、環境に対して心配している。
事務局は問題ない、大丈夫だと説明しているが。しかし、地元の方々は不安や心配事がある。管理者の姿勢が地域の方々に浸透しているのか、実態はどうか。
A . 施設自身の心配事はない。運搬車の臭いや進入路についての心配はあるようだ。目で見て安心していただくため、先進地視察を予定している。
- Q . 地元住民と一緒に心配事も取り除いていくこと。上郷の時と同じになってはいけない。また、政治的な絡みでの行動はあるのか
A . チラシが流れている事実がある。区長に説明会や視察を行い理解を得たい。区長と協議しながら学習会をしていく。委員会で立会いをしていただきデータを渡す。

意見

- ・ アセスが始まると、工事が始まった感じがある。基本協定があると良い。
- ・ 上郷の区長は4月に決まりました。
- ・ 対策委員会は、本委員会と同じように現場に関心のある方に来ていただく等、一つ一つの問題を解決していくと良い。水や煙については見ても分からないため、学識経験者に説明してもらおうと良い。
- ・ アセスに関する住民説明会のあり方検討や委員会に住民の方に入ってもらう。数字だけではわからない。
- ・ 検討委員会の作り方は、区長にお願いしても難しい。何をするのか分からない。事務局は委員会の手伝いをして早急に立ち上げてほしい。
- ・ 検討する中身については、施設整備、アセス、地域振興についての内容で、検討委員会を作っていただくよう区長にお願いしている。
- ・ 設置要綱を提案してもよい。
- ・ 権限を与えるのか。それによって、やる気が変わってくる。
- ・ 信頼関係を作り、協力をお願いしたい。
- ・ 外部と地元が混ざったものかと、地元だけの委員会なのか、どちらかはっきりしないと分からない。
- ・ 外部の方が入った時は、費用弁償が発生するが、地元の方にはどうするのか。この問題が決まらなければ、集まらないことを考慮すべきである。
- ・ 費用弁償については、立会い等の報酬等、何らかの形で対応することも考えられる。
- ・ 設置要綱にそのことを入れてほしい。
- ・ 地域振興を考えているので森本・坊岡区のみを考えている。
- ・ 水や大気は広域的になるため、周辺の方を考えないと熱心な方は何かと言われる。問題によりメンバーを変えるなど、柔軟的に考えるべきである。地区代表の1名ずつとか、第三者の立場でも意見が出るようにするべき。

3 協議

(1) 候補地選定委員会報告書の作成について

意見

- ・ 委員会としての活動内容等を、整理して報告書を作成することは、住民の理解を深め、他の地方公共団体の参考に供するうえで、意義があり大事なことである。
- ・ 表については、第何回の委員会での資料なのか明記した方が良い。
- ・ 表には、説明文と、それぞれ章ごとの表番号と表題を入れるべき。
- ・ 表中の区名順は統一した方が見やすい。

- ・ ごみ・汚泥量の重心の考え方については、複雑であり分かりにくく、参考資料に回すべき。
- ・ 候補地選定範囲図は、等高線が入っていないもので、見やすいものを付けるべきである。
- ・ 一次選定評価で下宮区を見直した後の評価結果も付けること。
- ・ 二次選定の手法について、表現を変えて明確にした方が良い。
- ・ 最終報告については、章を分けてはどうか。
- ・ 「おわりに」の文面は内容を精査し変更する。

結 論

- ・ 表には、章ごとの番号と表題を付け、説明文を入れる。
- ・ 委員会資料の引用資料については、第何回の資料であるのか明記する。
- ・ 各表の区名の順番については、全てを統一し、見やすいものとする。
- ・ 報告書の作成に当たっては、本日の意見等を受け、事務局と学経委員で内容を精査してまとめる。